



## 私の小径

### もう一度、走ってみたい。若い人には負けるけど、同じ年代の人には絶対に負けない！

こわぐち もりお  
**強口 守男 さん** 昭和5年生まれ 88歳 / 出生地 北朝鮮



「100歳まで生きて、もう一度走りたい。」笑顔で話してくれました。

強口守男さんは、自宅で生活しながら「みちのく金谷デイサービスセンターまるめろ」を週1回、「みちのく訪問介護ステーション」を月1回利用しています。

守男さんは、戦争中に北朝鮮へ渡った両親のもとに5人兄弟の三男として生まれました。高等小学校卒業後、海軍飛行予科練習生として入隊し、1学期で終戦を迎えます。終戦後の厳しい国際情勢により両親は日本に帰れず北朝鮮に残りましたが、子どもたち5人はどうにか日本に帰る事ができました。帰国後は兄弟別々に親戚の家に預けられ、守男さんは祖父父母が住んでいる南津軽郡六郷村(現黒石市)へ移住しました。

六郷村では、りんごを作ったり畑を耕すなどして生活をしていましたが、国に貢献したいと思い保安庁警備隊(現在の海上自衛隊)に入隊します。経理の仕事をしていた守男さんは、そこで妻・静子さんと出会いました。入札業務の手伝いをしていた静子さんに一目惚れした守男さんのプロポーズの言葉は、「僕には何もないけど、婿に入れて欲しい。」

その後は自衛隊で働きながら放射線技師になるために京都の学校に通ったり、看護師の資格を取得したりしながら定年まで勤めます。定年後は病院で放射線技師や、航海練習船「日本丸」の看護師として働き、医師と一緒に日本中を航海していました。

そんな守男さんには、小学校から続けている趣味があります。それは走ることです。

「走っていると嫌な事を忘れられる。一緒に走っている人を追い越すと気持ちが良いんだ。」

短距離走(100m)が得意で、県大会では新記録を出したこともあります。国民体育大会にも参加経験があり、100mで2位の成績を収めたテレビ局の取材を受けました。海外の大会に参加した事もあります。守男さんは、当時の事を思い出して、静子さんへの思いをこう語ります。

「何も言わず、自分の好きなようにさせてくれた、妻のおかげだ。」

高齢となり筋力低下が見られてからは短距離走から砲丸投げに転向するなど、80歳まで選手生活を続けていました。

米寿を迎えた守男さん。100歳に向けて家族3人、楽しく笑顔で過ごすことが今一番の幸せです。

記/渡邊 奈美子

## 中国ハルビン市民政局長一行が来訪

8月21・22日に中国のハルビン市・張偉林民政局長をはじめ、介護人材養成に携わる民間企業の担当者など9名が来訪されました。

中国でも高齢者の増加が予想されており、同市は介護保険特区となることから、当法人で実践しているICT・IoT介護関連機器を活用したサービス提供体制や介護人材教育・育成プログラムを学ぶ目的で訪れました。



中国ハルビン市民政局長一行と敷地内噴水前にて。

高齢者を乗せ居室内を移動することができる「天井走行式リフト」などを体験・見学し、熱心に意見交換などを行いました。

今後は、ハルビン市が目指す介護システムの構築に、協力していきたいと考えています。



最新の介護機器等について意見交換を行いました。



仙台事業所の立ち上げメンバーです。住み慣れた地域で安心して暮らせるように、スタッフ一同一生懸命取り組みます！

新規事業所開設の慌ただしさの中にも、仙台市のソウルソング「青葉城恋歌」を口ずさんでしまうほど、仙台の地になじんできました。

今年4月に仙台市長町地区ではじまった仙台事業所建設予定地付近のAPTに事業所を移転。その後も、在宅ステーションの開設に向けて備品の購入など、スタッフ2名で事業所として機能できるように準備に取り組んできました。

そして、8月1日に念願の「まるめろケアプラザセンター西多賀」が、9月1日には「まるめろナースステーション西多賀」と「まるめろヘルパーステーション西多賀」がオープンしました。スタッフも合わせて12名となり、事業所内は活気にあふれ、前へ前へと進んでいることを強く実感しています。

この6カ月間で一番苦労したことは人材の確保です。4月からハローワークは元より、いろいろな脈を頼りに奔走した結果、ヘルパーや看護師も決まり、開設申請を無事に済ませることが出来ました。仙台近隣のネットワーキングが重要課題の一つとなります。そのため、これからも精力的に取り組んでいく必要があると考えています。

着々と事業が進み新築予定の訪問事業所も設計段階に入りました。色々な事が形になってきています。

法人のシンボル「まるめろの樹」のような人が自然に集まる事業所にしていきたいと思えます。

記/川口晴美(仙台事業本部)

## シリーズ 仙台新規事業② 仙台事業所 開所しました!!

事業所新築工事の進捗状況や施設サービスの概要など、最新情報はホームページにて随時紹介しております。

- 居宅介護支援事業所  
まるめろケアプラザセンター西多賀  
☎022(302)5930
  - 訪問看護事業所  
まるめろナースステーション西多賀  
☎022(302)5848
  - 訪問介護事業所  
まるめろヘルパーステーション西多賀  
☎022(302)5931
- 【住所】  
〒982-0812  
仙台市太白区上野山1丁目8-7  
ソレイユ207号室

やさしい街づくりを応援しています。

し原収集運搬業・浄化槽保守点検・清掃業  
一般・産業廃棄物収集運搬業  
下水道管渠清掃カメラ調査、下水終末処理場維持管理業

**谷川環境衛生開発(株)**  
代表取締役社長 谷川 聡

本社：むつ市新町 41-1  
TEL. 0175(22)2659 FAX. 0175(22)7783  
フリーダイヤル 0120-12-2659

快適な環境づくりのお手伝い

- 介護用品のレンタル・販売  
(車いす・ベッド・リハビリ機器他)
- 住宅改修

株式会社 **シルバーサービス**  
〒035-0033 むつ市横町 2-9-13  
TEL 0175-22-9511

お客様へエネルギーの創造と革新を提供し、経済・社会の発展に努めます。

**ENEOS グローブエナジー株式会社**  
URL <http://eg-energy.jp/>

むつ支店：むつ市南赤川町10-27  
TEL 0175-22-8320

# ズイーの日記



**出身地** ベトナム社会主義共和国  
バクニン省ザーピン市  
(ハノイ市から車で1時間)

**趣味** 日本の漫画を読むこと

私はファム・バン・ズイーともうします。ベトナムから来ました。現在は介護福祉士候補者として特別養護老人ホームみちのく荘へ勤めています。日本に来てから4年目になります。よいよ来年1月に介護福祉士の試験を受けます。試験まであまり時間がありませんので、毎日一生懸命に勉強しています。仕事も大変です。ストレスを感じることがあります。私のストレスの発散方法は、大好きな日本のマンガを読むことです。休みの日に面白いマンガを見つけて、何冊も買ってしまっています。とても面白かったです。夜にベトナムの友達に読んであげていたら、いつのまにか2人で笑っていました。

知らないうちにストレスがなくなったりも出たので、これからは頑張りたいと思います。 ●ズイーさんの自筆です。

2015年6月に介護福祉士候補生として来日したズイーさん。最近では友人との会話や大好きな日本の漫画本を読んでストレスを発散しています。来年こそは海に行きたいと話してくれました。本誌では努力が実ることを心から願っています。

〈編集委員〉

関野準一郎記念 まるめろ美術館ご案内 「京都」展

同時開催【花の舞妓】  
期間/2018年10月5日(金)~2019年2月5日(火)  
開館時間/10:00~16:00  
資料代/300円(中学生以下無料)  
休館日/第一水曜・第一木曜・土・日・祝日・年末年始

みちのく荘メディカルケアセンター内  
まるめろ美術館  
住所/むつ市十二林17-1

●特別養護老人ホームみちのく荘  
○スミダアカデミーむつ  
○むつ市役所  
○田名部  
●特別養護老人ホーム金谷みちのく荘  
●みちのく金谷総合デイサービスセンター  
○下北文化会館

## みちのく荘で働く仲間たち 第2回 訪問リハビリ

### ●訪問リハビリってどんな仕事?

訪問リハビリとは、医師の指示のもとに理学療法士、作業療法士、言語聴覚士がご家庭を訪問し、機能回復や実際の生活場面に即した能力的な部分へ、アプローチを行っていくサービスです。

在宅で生活されている方を対象とし、通院が困難な方や通院だけでは十分なリハビリができない方などの手助けをすることで、日常生活の自立と家庭内さらには社会参加意欲の向上を図ることが目的です。

名前: 杉山 北郎  
出身地: 青森県むつ市  
みちのく訪問リハビリテーションセンター

杉山PT(注)は2014年4月に入社し「みちのくデイケアセンター(通所リハビリ)」に勤務、通所リハビリの現場で多くの経験を積み、2年前に「みちのく訪問リハビリテーションセンター」へ異動しました。

訪問リハビリは利用者の自宅で行うため、全て一人で対応しなければいけません。また、施設でのリハビリとは異なり、使えるスペースや物品に限られています。「リハビリ」という言葉から、歩行などの身体機能の維持・向上を想像するかもしれませんが、訪問リハビリは、住宅改修や自宅内の環境整備、福祉用具の提案や家族への介護指導なども行います。

様々な生活環境の中でどのようにリハビリを進めていくかを考える必要があるため「訪問リハビリではアイデアと工夫が大切なスキルです」と杉山PTは話します。

利用者だけでなく、その家族との関わりも重要となるため「利用者や家族の思い、生活での不安にしっかりと耳を傾けて丁寧に対応していくこと」を大切にしながら、日々の業務に取り組んでいます。利用者や家族からの「この生活動作ができるようになった」「介護が楽になった。リハビリスタッフが来てくれて助かった」との声が訪問リハビリのやりがいです。

杉山PTは日々の目標を「私が訪問することで利用者や家族が少しでも安心して、笑顔になってくれること」と話してくれました。

(注)PTとは理学療法士(Physical Therapist)の略です。

## 生活機能向上サービス

みちのく金谷デイサービスセンターでは、利用する方が「住み慣れた場所でも長く生活を楽しまつため」に、生活機能を向上させるサービスづくりに取り組んでいます。

初めて利用する時に、身体・健康・生活動作などを測定します。その結果をもとに、20種類近くあるデイサービスのプログラムを提案し、自分に合ったものを選択してもらい利用計画書を作ります。

3カ月目、6カ月目、9カ月目と状態の変化を測定し、一人ひとり自分らしい生活を続けていけるよう支援いたします。

身体状況等により理学療法士が測定・聞き取りを行います。

## みちのく 金谷デイサービスセンター 活動紹介

### 第4回「みちのく荘 子どもさんかん日」報告

2018年7月25日に「第4回みちのく荘子どもさんかん日」を実施しました。「みちのく荘子どもさんかん日」は、当法人で働く職員の子どものお父さん・お母さんの働いている姿を見学し、介護を体験する企画です。

お昼には7月からビュッフェ形式になった金谷デイサービスで盛り付けを手伝いました。その他にも利用者と一緒にレクリエーションをして過ごし、楽しい経験になったようです。

お父さんと一緒に利用者に声をかけながら盛り付けています。

## 2019年 新卒採用試験のお知らせ

9月16日に高校生の就職採用選考が始まりました。青森社会福祉振興団でも、2019年新卒採用の募集を行っています。

詳しい求人内容は、当法人ウェブサイト(採用情報)に詳しく掲載しています。施設見学も随時行っていますのでお気軽にご連絡ください。

採用試験日  
2018年10月26日(金)

募集職種  
介護職/高校・専門学校・短期大学・大学  
看護師/専門学校・短期大学・大学  
作業療法士・言語聴覚士  
/専門学校・短期大学・大学  
総合職(事務系)/大学  
調理員/専門学校・短期大学  
雇用形態  
正職員(試用期間6ヵ月)  
その他  
下北郡外からの受験者で、ホテル等に宿泊される方は、宿泊費5000円(一律を補助します)。

お問い合わせ  
社会福祉法人 青森社会福祉振興団  
人材部 人事セクション/木村  
電話/0175(23)1600

スマートフォンをお持ちの方はこちらのQRコードからアクセスできます。

## やさしい街づくりを応援しています。

〈技術に生きる〉  
病院設備機器・研究設備機器

株式会社 **三ツ四 医理科**  
むつ営業所

〒035-0063 むつ市若松町2-54  
TEL 0175(23)8760  
FAX 0175(23)8761

劇団こぐま座  
**メルヘン劇場 & コンサート**

10/5(金)

09:30~10:30 011:00~12:00  
一般1,000円 ※膝上無料 好評販売中!

主催:下北文化会館 ☎22-8411

水産物・青果物・食肉・冷凍食品等の卸売

有限会社 **ニッショク**  
NISSYOKU

青森県むつ市大曲二丁目13-35  
電話(0175) 22-7222  
FAX(0175) 22-7081

## 青森県議会環境厚生委員会 一行が来訪

7月27日、青森県議会環境厚生委員会(委員長・藤川友信議員)に所属する委員の皆さまが来訪されました。

昨年度から運営している「認知症カフェまるめろ」と、法人施設内で使用している介護ロボット(広角赤外線センサーからのシルエット画像による見守り等)について視察・意見交換を行いました。